

30秒間の空嚥下回数と、検査条件・判定不可理由・次の対応をセットで記録します。

患者ID・氏名	評価日・時刻
評価者（職種）	病棟・場所

1. 実施前確認

覚醒	☐ 良好 ☐ 変動あり ☐ 不良
指示理解	☐ 良好 ☐ 一部困難 ☐ 不良（判定不可）
体位	☐ 椅子座位 ☐ 端座位 ☐ ベッド上 角度（ °）
口腔内	☐ 清潔 ☐ 乾燥なし ☐ 乾燥あり ☐ 口腔ケア ☐ 湿潤
呼吸・全身	☐ 安定 ☐ 呼吸苦 ☐ 咳・痰 ☐ めまい／悪心 ☐ その他
酸素・cue	☐ 室内気 ☐ O ₂ （ L/分） ☐ 開始時のみ ☐ 追加cueあり

実施前の原則：口腔ケアを行い、口腔内を清潔にしてから実施します。指示理解不良などで検査が成立しない場合は、0回ではなく「判定不可」とします。

2. 触診・30秒測定

触診・実施条件 ☐ 喉頭隆起と舌骨に、人差し指・中指の指腹を軽く当てた ☐ 30秒をタイマーで固定した ☐ 開始時の説明：「30秒間、できるだけ何度も唾を飲み込んでください」 触知： ☐ 可能 ☐ 困難 喉頭隆起と舌骨が上前方へ移動し、下降して元の位置へ戻った時点を1回と数えます。	測定結果 _____ 回／30秒 ☐ 3回以上（テスト陰性） ☐ 1～2回（テスト陽性） ☐ 0回（指示理解・試行あり） ☐ 判定不可 判定不可理由： ☐ 指示理解不良 ☐ 覚醒不良 ☐ 触知困難 ☐ 拒否 ☐ その他
---	---

3. 随伴所見・解釈

随伴所見	☐ 変化なし ☐ 咳 ☐ 湿性嚔声 ☐ 呼吸変化 ☐ 痰・分泌物 ☐ 苦痛・疲労
SpO ₂ ・呼吸	SpO ₂ ：前（ %）→後（ %） 呼吸数：前（ /分）→後（ /分）
臨床所見との整合	☐ 整合する ☐ 整合しない 理由・所見：
補足	

解釈：3回未満はテスト陽性の目安です。RSST単独で誤嚥の有無、経口摂取の安全性、食形態を確定しません。

4. 次の対応・再評価

☐ 経過観察 ☐ 条件を整えて再評価 ☐ ST相談 ☐ 医師・看護師へ共有 ☐ 追加評価を検討

追加評価： ☐ MWST ☐ フードテスト ☐ VE ☐ VF ☐ その他（ ）

日時	条件・変更点	回数／判定	次の対応

申し送り・再評価メモ
